住みよい塙山かわら版

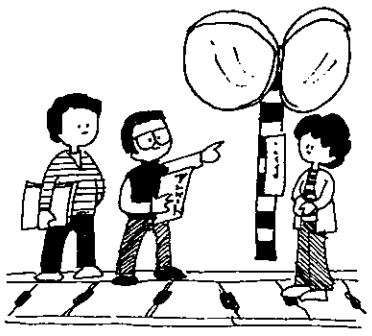
第2号
昭和56年4月30日
発行者
塙山学区
住みよいまちをつくる会
広報部
お問合せは
古川 (36)1086
伊藤 (36)0521
諸沢 (36)0994まで

みんなですすめる住みよいまちづくり!!

総会にお出かけ下さい　五月十七日(日)塙山で

塙山学区住みよいまちをつくる会では、五月十七日(日)九時半から、塙山小学校で総会を開きます。住みよいまちづくりをすすめるために次のようなことについて話し合いが行なわれます。講演会もありますのでそろってお出かけ下さい。

住民アンケート調査を実施



今年の六月から八月にかけて、学区内の全世帯に交通安全施設、道路・側溝・防犯灯など生活環境に関する住民アンケート調査を実施して、役員による現場調査のあと、市やその他の関係機関などに要望をして解決をはかり、私たちの住む塙山を住みよい環境にしようというのがこの調査のねらいです。アンケート用紙は町内会自治会をとおして配布される予定ですので御協力をよろしくお願いします

住民レク大会 今年は10月

昨年の十一月に開催しました住民レクリェーション大会は、昨年の反省点を十分考慮しながら、今年は十月半ば頃に開催する予定です。地域住民同志の仲間づくりに、また日頃の運動不足の解消に、近所の方とあるいは子どもさんとともに汗を流しましょう。御協力をお願いします。

夏の風物詩 盆おどり、7月に開催

七月二五日、大久保市民グランドで、塙山大盆おどりを予定しています。模擬店(おでん、ヨーヨー、やきとりなど)も並べてにぎやかにくりひろげます。ぜひゆかた姿でご家族そろってご参加ください。

みんなで聞こう 住みよいまちづくりの講演会

とき　5月17日(日) 午前10時30分
ところ　塙山小学校
講師　茨城大学助教授　帯刀治(たてわき)先生

帯刀先生は、地域社会研究室の先生です。特に市の委託で市民活動問題を研究されていて日立市をよく知っておられる方です。私たち塙山学区についても的確な助言がいただけると思います。先生を中心に、住みよいまちづくりのすすめ方をみんなで話し合いましょう。多数ご参加ください。

塙山学区の世帯数

2406世帯
(市報配布世帯数)
人口約7820人
(学区世帯数に市平均世帯人口(3.25)を乗じた数)

手弁当でまちづくり

一世帯200円(年会費)を総会に提案

まちづくりは市民が主人公です。自分たちのまちは、自分たちの手でつくりあげることが大切であると思います。そのために生活環境アンケート調査や住民レクリェーション大会、盆踊り大会を実施したり、広報紙を発行したり、さまざまな活動をとおして、住民相互の親睦を深め、よりよい塙山のまちづくりを住民みんなが進めていかなければならないのです。しかし、そのような活動には、どうしてもお金が必要です。昨年は皆様から百円の協力金をいただいて住民レク大会を成功させることができました。今年からは、一世帯二百円(年会費)の会費をいただいて、いろいろな活動を積極的に行っていきたいと思いますので御協力をお願いいたします。

塙山という地名の由来

塙山という地域については文献などもなく確かなことは判明しませんが、江戸時代ごろは「はなわやま」といったらしく、明治時代初期ごろから「はなやま」といわれるようになったようです。

むかしの字図を見ますと堂木沢、北向後出合、見付後(大久保町)などに囲まれた位置を占め、長さ約七二マメートル、幅約二二マメートル程あり、北方は塙山北といわれております。

塙とは山のさし出た小高い所で、地盤が硬く、表面が平らかな台地を意味しております即ち塙(はなわ)とか、塙(こう)とか、塙(かたつち)などといわれてきたようです。

古いむかしの原住民の間では、塙山あたりをタナワといったと聞きましたが、音声言語によるタナワとは塙という意味らしいです。

塙山の台地には、縄文土器が若干発見されているところもあります。

市社会教育指導員　永沼義信さん記

DISCOVER (1) 塙山